

11・4日比谷野音へ！

2012年9月20日
No.54

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

法大開講！ 文連・全学連が戦闘宣言！

9月18日、後期法大キャンパスが開講し、全学連と文化連盟は昼休みに集会を打ち抜きました。(右写真)

斎藤郁真全学連・文連委員長からはこの秋、首相官邸前100万人反原発行動と10・19法大集会への結集を呼びかけるアピールが発せられ、さらに処分策動を狙われている国際文化学部3年の武田君からは「処分阻止・学祭規制撤廃」を訴える怒りのアジテーションが行われました。(発言要旨は下枠)

追いつめられた法大職員が「ビラまきをやめろ」と弾圧を加えようとするも、逆に怒りを燃やした武田君らの徹底追及でビラまき妨害を完全粉碎！そのやりとりを見ていた法大生からは「がんばれ」という声援があがったり、ビラをもらいに来る学生や握手を求めてくる学生も出てきています。

法大決戦の火ぶたは切って落とされた！武田君への不当処分を阻止しよう！10・19法大デモへ総決起しよう！



10・19法大包围デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

法大国際文化学部3年武田君の集会発言

僕はこの間、自主法政祭をめぐる規制で文化連盟の代表として反対の声を上げ続けてきました。今年の自主法政祭は全面飲酒規制はもちろん、出向制度によって、支持もしていない規制を各サークルから最低3人ずつ出さないといけない。そういうめっちゃくちゃな規制が今、かかろうとしています。

そんな中、去年まで入れた全学説明会に僕や社会科学研究会とその友達まで「お前は社研っぽい」とかわけのわからないことを言われて入れないということがおきました。何ですか！？社研っぽいって。要は規制反対を言っていたら追い出すってことではないですか！今年、意見交換会、全学説明会、3回くらい全体での討議の場があり、その都度僕は排除されてきました。

許し難いのは僕の所属している国際文化学部の教授連中ですよ！普段、あんどけりべラルぶったことを言っておいて人権だの自由だの言っておいて、中立だと言って、鈴木良則学生センター長の僕への暴行も何らお咎めなしで、僕の元に処分警告状みたいなものを送ってきたわけですよ。国際文化学部の教授は本当に今、考えてほしいと思います。

目の前で起きていることが本当に自分が胸を張って言えることなのか！

後期、僕ら文化連盟は規制絶対反対の立場でやっていきたいと思っています。全学説明会までは、ハッキリ言って出来レースみたいなものが多いと思います。学生センターが発行しているKompasをみましたか？Kompasに今年の一連の規制強化の流れについて大学が何と言っているか。「学生対大学当局という単純な対立構図を止揚してお互いが学祭を成功させるために規制を作って成功した」なんて言っているんですよ！学生は半分以上が反対しているんですよ！学祭実のアンケート調査でさえそうなんです。全学説明会では2割の不信感が学祭実に対して叩きつけられました。市ヶ谷の規制だから関係なく多摩の代表も含め、サークルの代表にしか拒否権はないわけですから、その上で2割の不信感なんです。



どれだけ支持されていないんですかっていう話じゃないですか！今や学祭実が当局とほとんど一体です。こいつらをぶっ飛ばすしか自主法政祭を守れません。全学説明会までは奴らのルールです。議事を進行して、奴らが気に入らない連中の発言は長いから切っ、奴らがこれは議題じゃないとか迷惑だとか僕らを排除したりしてきたけれど、学生の力はそんなに押しとどめられるもんじゃないです。

後期の本番は奴らの土俵ではなく、学内で集会でも何でもやって数の力を見せつけてやりましょう！本当にみんな、規制に反対しているんですよ！飲酒規制は半分、あるのかもしれないけど、出向制度なんて行きたい奴、いるんですか！拡大実が集まらないからその尻ぬぐいに各サークルから強制的に出させるって、弱小サークルにとってはそんなもん、「学祭やるな」と言われているのと同じですよ！何で誰も支持していない規制に我々が強力しなくては行けないのか！こんな制度、絶対ぶっ飛ばす以外にありません。こういう風に絶対反対言う学生を処分できないんですよ！奴らは！処分警告という形で回りくどく実家へ送ってきやがって！学部長の名前すら書いてないじゃないですか！何がやりたんだお前らって話ですよ。奴らは張り子の虎です。僕らが団結

して声を上げればこんなやつらは絶対にぶっ飛ばせます。僕が入ってくる前、この大学にはジャージ部隊と言われる連中がいたみたいですよ。信じられますか？ジャージ来たガタイのいい柔道やっているようなおっさんがこういう声を上げる学生をなぐってたんですよ。肋骨が折られた学生だっているし、首を絞められて失神した学生だっている。法政大学が今まで何をやってきたのか！ジャパントイズにだって「法政大学の蛮行」って散々暴かれているんですよ。こういう奴らは今は少なくともいけません。学生が団結したらこんな連中が、今、無許可でカメラ撮っているけど、日常的な人権侵害だっていつか打ち破れるはずですよ。だから力を合わせて、後期ともに闘っていきましょう！規制を絶対つぶしましょう！よろしくおねがいします。

広大で原子力学会弾劾行動打ち抜く！

本日（9月19日）から3日間、広島大学東広島キャンパスで行われる「日本原子力学会『2012年秋の大会』」に対し、広大生とNAZENヒロシマのメンバーが断固たる抗議行動に立ち上がりました。（右写真）

福島原発事故後も、原発推進の立場を変えず、核兵器開発のための核燃サイクルを進めている日本原子力学会に対して、被爆地ヒロシマで学ぶ学生、市民として絶対に許すことはできないという思いからです。

学会開催に先立ち、事前にこちらが申し入れ書の提出を打診したところ、学会長の野村茂雄氏（JAEA出身）自ら受け取るとの返答があり、本日の申し入れ行動が野村学会長への追及行動の場となりました。

学生の代表が申し入れ書を読み上げたところ、まずもって「原発を今すぐなくして電気が足りなくなってもいいのか」というお決まりの文句が飛び出します。（こちらが、この夏を原発2基で乗り切ったことを指摘するとともに言えなくなり、沈黙。）また枕詞のように「福島のような事故を二度と繰り返してはならない」というものの、今後の原発に関しては「より安全性の高い原発を推進していく」「（原子力行政に関しても）学会としてはこれまで通り専門的な、科学技術的な観点からかわっていく」「原発をやめるかどうかは政府が決めること。学会としてはそれに従う」という回答。国策に追随しフクシマを引き起こしたことへの反省も、学会としての自己批判のかけらもない態度。一科学者としての良心や、判断力はないのでしょうか。



また、申し入れ書で原発内における被曝労働（とりわけ福島で続いている高線量下の被曝労働）について質問したところ「労働者の被曝は徹底的に管理されるべき」「そのような提言を学会としても行ってきた」と言うだけで、その実施に一切責任をとるつもりはありません。労働者の命などなんとも思っていないのです。

今日の申し入れではっきりしたのは、日本原子力学会にとって、福島原発事故の反省は技術的な分野にとどまり、より一層の技術的進歩を政府に対して提言していくことによって「二度とフクシマのような事故を起こしてはいけない」というものでしかなく、原発の廃炉など一切考えていないということです。

参加者の怒りの追及は止まらず、最初は「15分しか時間が無い」と言ってきましたが、終わってみると30分の追及行動となりました。そして後日正式な文書での回答を約束させました。

申し入れ行動の後、学会参加者へのビラ撒きの反応は上々。約200枚のビラが受け取られました。

こちらに敵意むき出しにビラを受け取らない学会員もいれば、「自分も原発反対だ」と名刺を渡してくれる学会員も。日本原子力学会がその基本スタンスとして「原発推進」の立場を崩していない中で、3・11以後の情勢の中で確実に学会内で原発反対の学者がいることも感じる事ができました。

抗議行動の最後に、学会会場である、総合科学部講義等にむけてシュプレヒコール（左写真）をあげて抗議行動を終わりました。

私たち広大生および被爆地は、原子カムラ・御用学者を絶対に許しません！ この秋、フクシマの怒りとさらにつながり、御用学者山下・神谷教授追放の学生運動を全国の先頭で巻き起こし、反原発闘争の大発展をつくりだす決意です。



11・4全国労働者総決起集会

**新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！
JR外注化阻止！ 反原発・反失業、野田倒せ！**

◆11月4日（日）正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

